

入間川地区中学校統廃合検討協議会第14回会議録

- ・開催日時 平成26年7月24日(木) 午後7時～午後8時
- ・開催場所 狭山市役所6階会議室
- ・出席者 25名 ※欠席者5名
- ・事務局 生涯学習部長 次長兼教育総務課長 学校統廃合担当課長 同担当主査
学校教育部参事兼教育指導課長 学務課長
- ・傍聴者 7名

【会議内容】

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 入間川地区の中学校の統廃合に関する計画(提言)について

(委員) 統廃合時の2年生と3年生は、そのまま東中の制服を着てかまわないことになっていますが、学校に入ったら、お前は東中から来たのかなどといった差別が起こるのではないですか。そういうのをなるべくなくした方がいいのであれば、市で補助して、2年生と3年生も同じ制服にした方がいいのではないですか。

(事務局) 制服が違うことで、すぐにそれが差別につながるとは考えていません。

(委員) 差別になるとも限らないし、ならないとも限らないですよ。そういうふうに差別することで、いじめとかが起きないかということです。

(事務局) 制服が違うことで、すぐにそれがいじめにつながるとは考えていませんが、いじめの問題に関しては、各学校で、いじめ防止のための基本方針を定めています。

(委員) 市としては、やりたくないということですね。私としては、部活のユニフォームについて支給の余地があるのであれば、制服も同じにしてもいいのではないかと考えています。検討してみてください。

(委員) 検討協議会で先日行った通学路調査の時に、富士見二丁目の交差点から狭山台中に至る道路を歩きましたが、その際、道が細いとか、暗いとか、けやき通りを渡る箇所に信号があればよいなどといった意見があったと思うので、そのあたりの事をもっと細かく書いてほしいと思います。また、他のルートや自転車通学の事なども入れた方がいいのではないかと思います。

(議長) 7月10日に実施した通学路点検の際に、参加された委員の皆さんからご意見等が出ていると思いますので、それについて事務局から説明をお願いします。

(事務局) 調査では、通学路案にあるとおり、大通りの方ではなく雑木林がある方の道を歩きました。その際に、道が狭い、街灯が少ない、カーブミラーや信号機を設置する必要があるなどといったご指摘をいただきました。

(委員) 委員から出た意見を、提言書と一緒に言葉を添えて伝えてもらえるのであればそれでいいのですが、この提言書に書かれている安全対策の内容だけでは、よくわからないと思います。

(事務局) 注意を要する箇所がどこなのかわかるように修正したいと思います。

(委員) この通学路の安全対策の記載内容だけでは全然反映されてないと思います。あの細い道は結構距離があるうえに車がすれ違いませんし、コート狭山台の前のふれあい緑地も、木が多く茂れば、夕方は女の子にとっては恐ろしい道になります。これだけでは何も危険性がないように感じますので、このままの形で提言にされるのは困りますし、対応策も出してもらいたいと思います。

(委員) 施設整備に関する記載のなかに、修繕という表現がいくつかありますが、これらは統廃合の予算ではなく、通常予算で行うものではな

いでしょうか。

(事務局) とくに狭山台中の南校舎は、長い間普通教室として使用していなかったため、全体的に修繕を施す必要があります。そういった面では統廃合に伴う修繕ということになるかと思います。

(委員) 修繕という表現では誤解を招くことも考えられますので、改修とか増設といった言葉に変えた方がいいと思います。

(委員) 跡地の件ですが、東中の校舎は取り壊すのですか、それとも、そのまま残して活用するのですか。

(事務局) 現時点では白紙の段階です。

(委員) 跡地の活用方法は、どこでどういうふうに決まるのですか。

(事務局) 跡地の活用方法に関しては、市役所の政策的なセクションが主体となって検討を進めることとなります。現段階では、具体的に組織を立ち上げて検討しているということはありません。

(委員) 私達が要望を出しても、市の企画課か何かがこういうふうにやっつまおうということになれば、そうなってしまうわけですね。

(事務局) 提言に書かれた要望が実現するかどうかはわかりませんが、これらの要望を踏まえたうえで検討が進められることになると思います。

(委員) ここに書かれるものは、ほんの意見というか要望ということですね。

(事務局) 検討するうえでの参考意見とさせていただきますということです。

(委員) 都市計画道路の狭山市駅加佐志線は、整備優先順位としては 2 番目に位置付けられていますので、東京狭山線につながるように早く整備を進めていただきたいと思います。

入間川小学校の卒業生としては、西口開発で入間川小の跡地が住宅地になってしまったことに一抹の寂しさを感じましたので、東中の跡地については、大勢の人が集まるような観客席のあるスポーツ公園に

してもらいたいと思っています。

(委員) あの敷地では狭すぎて、そのような大きなグラウンドを造るのは難しいと思います。

狭山市は、都市対抗野球に出場するチームがあるのに、野球のグラウンドがありません。そういうグラウンドを造ってほしいけれども、あそこでは小さいので、例えば智光山公園に大きなグラウンドを造って、その代替えとして東中の跡地を活用するのもいいのではないかと考えています。

(委員) この提言書に保護者アンケートを付けている意味は何ですか。そして、このアンケートの結果は、提言書のどこに反映されているのですか。

(事務局) アンケートを付けさせていただいたのは、保護者の皆様からのご意見等を吸い上げてフィードバックしていくためです。

(委員) このアンケートを基に提言書をつくられたという認識でよろしいですか。

(事務局) 今後は、この提言を基に市として統廃合計画をつくります。計画のなかでは、アンケートでお寄せいただいた意見や要望に対する市としての考え方をまとめたものを盛り込む予定です。

(委員) 市がつくる統廃合計画は、行政の方達だけでつくるもので、私達は一切ノータッチということですか。

(事務局) 統廃合計画の策定にあたりましては、そのような形となりますが、基本的には今回の提言書に沿った形で策定いたします。提言書のなかには、例えば、統廃合にあたっての留意事項として教員配置に関する記載がありますが、計画には、具体的にどのように配置するかといったことを盛り込むこととなります。

(委員) 統廃合はマイナスのイメージがありますので、新しい学校をつくらせてプラスにしていかなければ意味がないと思いますが、この提言書を見ていると、最初から行政がルールを引いていて、行き先も決まって

いて、それに私達がただ乗せられているだけとしか思えません。5園を2園にした幼稚園の統廃合の会議にも出席させていただきましたが、その時も、いろいろなお母さん達がいろいろな意見を言いましたが、結局、お母さん達の意見は何一つ取り入れられませんでした。今回の中学校の統廃合も、富士見小や東中の保護者の意見は、あまり聞き入れられていないようですが、新しいものをつくるのか、統廃合して良かったと思えるようなワクワクするものが、もっと留意事項に入っていると思います。ありきたりの事しか書かれてないですし、施設の改修だって、もともとやるものでしょって思っている人は多いと思います。私達大人が、統廃合して良かったというものを子供達に見せられなければ、ただの学区の編成でしかないと思います。中身の部分は東中と狭山台中でつくっていくことになると思うのですが、その中身の部分にどこまで反映させることができるのか、ここにはどこにも書いてないですよ。それを反映させる担保は、どこにあるのでしょうか。

(事務局) これから学校間で統合に向けた準備委員会を立ち上げますので、そのなかで、学校の運営方針などについての調整を行います。統合後のグランドデザインについても、現時点ではお示しすることはできませんが、統合に向けたビジョンは、しっかりとつくっていく必要があると考えています。

(委員) 新しいものをつくるという事務局側からの答弁がありましたので、それを前提に話をしているわけで、新しいものを取り入れることはできませんと言われたら、この間の答弁は何だったのということになりますよね。

(事務局) 今は具体的なものをお示しすることはできませんが、まだ統合まで一年以上ありますので、両校の準備委員会で細かく揉んでいって新しいものをつくり上げていくことになる、そのように考えています。

(委員) 提言書のなかに、そういった事は盛り込んでいただけないということではよろしいですか。

(事務局) 具体的な事は書けないにしても、留意事項に盛り込むことは検討できると思います。

(委員) 留意事項に入らなければ計画にも入らないので、文言は別として、その点をお願いしたいところですが、行政のプロとして、富士見小の子が狭山台中に行って良かったと思えるような計画をつくってもらいたいと思います。

最後に言わせていただきますが、ただの統廃合で終わらせるのであれば、これだけの人を集める必要はないと思います。行政の人が給料もらってやっているのですから、行政の責任でやらしてもらえばいいのであって、皆さんから意見を聴きました、ハイどうぞ、みたいな提言はやめていただきたいと思います。これだけの人を集めるのであれば、もっとワクワクしたものを本来つくれるはずだし、それが狭山市の魅力につながれば、引っ越してきたいと思う人も増えるのではないのでしょうか。統廃合はマイナスですけど、市立の一貫校をつくるのか、弱者に優しい教育をするとか、そういった事を、今後統廃合を検討する際には考えた方がいいと思います。

(委員) 教育のプロの先生方に意見を聴いてみたいと思うのですが、どうでしょうか。これでいいと考えているのでしょうか、それとも、もっといい方法があると考えているのでしょうか。

(議長) 意見のある方は、積極的に言っていただければと思います。

(委員) こういうのが理想だというものを、先生方はきっとお持ちだと思います。この場では言いづらい面もあろうかと思いますが、先生方の率直な意見を聴きたいと思います。

《学校長からの発言はなし》

(委員) 先ほど委員さんが、これだけの人を集める必要はないとおっしゃいましたが、私はそんなことはないと思います。今日に至るまで、いろいろな人の立場から喧々諤々の議論をしまいいりましたし、今までの会議が無駄だったとは私は考えていません。

(委員) 今までの会議が無駄だったとは言っていません。私が言いたかったのは、これだけの人が集まっているのなら、もっとワクワクしたものができたはずで、これだったら、この会議の時間は何だったのという話をさせていただきただけです。

(委員) 私は22年度の第1回目の会議から参加をしていますが、ワクワクす

るような学校生活、安全安心な環境づくりを目指して、私達はずっと討議をしてまいりました。私は東中を建て直して新しく学校をつくった方が良いという意見をずっと言ってきましたが、協議会の結論としては、残念ながらそれについては認められませんでした。私達は、ワクワクするものを取り消したわけではなく、喧々諤々の議論のなかで、最終的には、東中を閉校して早く子供達を安全安心な環境に移すということで本日に至っている状況ですので、そこはご理解していただきたいと思います。本当に子供達の事を考え、真剣に議論を重ねてきたのは事実ですし、途中で委員の人数を増やしたのは、関係するPTAの方々にもっと入ってもらって、一緒に議論した方がいいと判断したからです。

(委員) 東中の校舎は大丈夫なのですか。

(事務局) 学校の耐震については、構造耐震指標として0.7以上のIs値が本来求められているところですが、東中は0.7以上を確保するための耐震補強工事を行っていません。Is値については、とくに0.3未満の場合は、大きな地震に対して倒壊する危険性が高いとされているため、東中の校舎のうち、Is値が0.3に達していない一部の校舎については、柱と壁との間に切れ目を入れるスリット工事を施工しています。

(委員) せっかく一緒になるのだから、この提言書のなかに、モデル校になれるようなことを入れたらいいのではないのでしょうか。留意事項には、関係する学校のこれまでの取組を生かしていく必要があるとありますが、これは同じことを継続するということですよ。それだけではなくて、今までなかったことで、一緒になって良かったというような、モデル校になるようなことが入ってもいいのではないかと思います。

また、跡地の活用に関して全庁的にやるのは結構ですが、少なくとも学校統廃合の問題ですから、できれば教育委員会が主体になって考えてもらえればと思っています。

(委員) 制服の事で、いじめが起こるかもしれないという意見がありました。また、統廃合でいろんな所から人が来るということもあります。ですので、いろんな意見を大切にするとか、いじめを絶対なくすとか、そういう学校を目指すみたいな表現を一番上に入れていただいてもいいのかなと思います。

(委員) 今日出た意見は提言書のなかに入れるのですか。

(事務局) 検討協議会でいただいたご意見は、可能な限り取り入れたいと考えています。

(委員) 最終的にこういう格好で提言書をまとめますといった確認はないのですか。

(事務局) 今日いただいたご意見を盛り込んだ形で、次回あらためて提言書をお配りし、確認をいただいたうえで、最終的な提言書としてまとめさせていただきます。

(委員) 跡地の活用等のところに、「市民の声を反映した」といった文言を入れていただければと思います。市民の声を反映してという文言を加えていただければ、市民検討委員会などの設置も可能になると思います。

(2) その他

(事務局) 次回の検討協議会は、8月28日の木曜日の午後7時から、市役所で開催させていただきます。次回は、保護者アンケートで寄せられた意見や要望に対しての対応に関する資料と併せて、あらためて提言書をお配りしますので、よろしく申し上げます。

4 閉 会

【配付資料】

- ◆ 検討協議会第13回会議録
- ◆ 入間川地区の中学校の統廃合に関する計画（提言）～素案～